

消防学校だより

令和4年9月号

発行年月日 令和4年9月30日
発行 宮崎県消防学校

専科 通信指令研修

8月31日(水)、9月1日(木)の2日間で、現役消防職員を対象に通信指令研修を実施しました。

通信指令室員には、通信機器の取扱いや出動指令及び通報者とのコミュニケーション能力等、専門的な技能が求められています。

本研修は、京都橘大学の北小屋 裕講師を中心とした指導陣により、通信指令室員の119番受付業務の技術向上と、救急事案における適切な口頭指導要領や部隊運用向上など、通信指令業務全般に係る内容を座学と実技にて実施しました。



初任科 急流救助研修・登坂訓練

8月31日(水)、9月1日(木)の2日間で、急流救助研修、日本一の階段登坂訓練を実施しました。

急流救助研修は、ランドアース(熊本県球磨村)にて、急流河川の特性や救助活動の注意点を座学にて学習した後、実際に河川にて実技訓練を実施しました。河川での泳法や、ライフボールの投げ方、流れが速い河川の横断の仕方など多くのことを学びました。

日本一の階段登坂訓練(熊本県美郷町)では、各自ロープ、ホース携行という負荷で3333段を往復しました。



初任科 自主研究企画

9月2日(金)、学生による自主研究企画を実施しました。講話対象の年齢設定に沿い、各班がそれぞれ水難事故防止や、火の用心など様々な内容で発表しました。



初任科 東日本大震災講話

9月2日(金)、東日本大震災という未曾有の大規模災害対応にあたった、大船渡地区消防組合消防本部 葛西 翼 様から、「あの地震で何が起こり、どのような対応をしたのか」、また、今後、迫り来る大地震に対し消防職員として何が必要か、実体験を交え初任科生に講話していただきました。



初任科 消防実務

9月6日(火)、宮崎市消防局 新屋 菜々消防士、都城市消防局 福島 颯一郎消防士に、初任科生活残りわずかとなったこの時期に「やるべき事、やっておいた方が良かったと思うこと」を含め、消防署の勤務について自らの経験を交え講話していただきました。

一期先輩の身近な話として、初任科生も真剣に話を聞いていました。



初任科 県防災救急航空センター視察

9月6日(火)、県防災救急航空センターで校外研修を実施しました。

まず、窪田 勇一郎副隊長から航空隊の運用、器材の諸元などの講義の後、航空隊の訓練を見学させていただきました。

初任科生に一つの目標ができたと思います。



初任科 体力測定 (2回目)

9月6日(火)、2回目の体力測定を実施しました。各学生、1回目の記録から着実に伸びており、この半年間の成果が現れていました。体力の維持、向上は今後とも継続してください。



初任科 消防活動応用訓練

9月7日(水)、消防活動応用訓練を実施しました。

火災指令から現場到着後活動という流れで、実践に近い方法で訓練を行いました。

少し前までは、防火衣装着に手間取っていた学生も、手際よく防火衣、空気呼吸器を着装し、素早く車両に乗車しました。



初任科 夜間訓練

9月8日(水)、夜間訓練を実施しました。

夜間という視界が悪い中での活動は、日中より更に危険が増します。

基本動作を確実にいき、安全な活動が行えるように訓練しました。



初任科 山岳訓練

9月22日(木)、本年度2回目となる双石山での訓練を実施しました。

今回は、ホースマン(約60kg)を要救助者とし搬送するという負荷の高い訓練となりましたが、各小隊共にそれぞれでチームワークを発揮し、訓練の目的を達成しました。



初任科 卒業式

9月30日(金)、屋外訓練場での特別点検、査閲訓練展示後、屋内訓練場にて第67期初任科生の卒業式を執り行いました。

長引くコロナウイルス感染症の影響で、学校生活にも様々な制約がありましたが、初任科生21名は教育訓練に真摯に取り組み、当初の目的を達成することができました。

これからが本当のスタートです。消防士を目指したときの高い志を忘れずに、地域住民から頼られる消防士となってください。



10月の主な行事

- 宮崎市職員防火訓練 10月11日(火)～14日(金)
- 延岡市職員防火研修 10月17日(月)～18日(火)
- 救急科 10月19日(水)～12月14日(水)
- 消防団員基礎教育研修1次 10月20日(木)～21日(金)
- 消防団員基礎教育研修2次 10月22日(土)～23日(日)

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp